

# 建築用木材供給・利用強化対策

【令和4年度予算額 1,257 (1,251) 百万円】  
 (令和3年度補正予算額 49,482百万円の内数)

## <対策のポイント>

都市部における木材利用の強化等を図るため、**建築用木材の利用の実証**への支援や**大径材活用に向けた技術開発**等への支援、**製材やCLT（直交集成板）・LVL（単板積層材）等の建築物への利用環境整備**への支援を行います。あわせて、川上から川下までの需給情報の共有を図るとともに、**地域ごとの生産・流通における課題を解決するための独自の取組**を支援し、**建築用木材の安定的・効率的な供給体制を強化**します。

## <政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（31百万m<sup>3</sup>〔令和2年度〕→42百万m<sup>3</sup>〔令和12年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 都市の木材利用促進総合対策事業

376 (330) 百万円

都市部における**建築用木材（木質耐火部材等を含む）の利用実証**において、**改正木材利用促進法に基づく協定締結者を優先的に支援**します。また、**大径材活用も踏まえた地域材による設計合理化等の技術開発・普及や強度等に優れた建築用木材の製造に係る技術の開発・大学等と連携した普及**を支援します。さらに、川上から川下までが連携した顔の見える木材を使用した構造材、内装材、家具・建具等の普及啓発や、製材工場等の品目のバリエーションの充実に資する取組を支援します。

### 2. CLT・LVL等の建築物への利用環境整備事業

775 (721) 百万円

CLT製造企業との連携構築のためのモデル的な**建築実証メニュー**を追加し、CLTを用いた先駆的な建築物の設計・建築や街づくり等への実証を支援します。また、CLT等の**土木分野への利用や設計の容易化、製材やCLT等の品質確保等**に関する技術開発や設計者の育成等を支援します。さらに、**BIMを活用した設計、施工手法等の標準化に向けて、設計や資材調達における課題の抽出等**を行います。

※ BIM(Building Information Modeling)…コンピュータ上で部材の仕様等の様々な属性情報を併せ持つ3次元の建築物のモデルを構築するシステム

### 3. 建築用木材供給強化促進事業

106 (―) 百万円

引き続き**注視が必要な木材需給動向に対応**するため、川上から川下の事業者による需給情報等を共有する連絡協議会を中央・全国7地区で開催します。また、**建築用木材の安定的・効率的な供給体制を強化**するため、川上から川下までの生産・流通における地域ごとの多様な課題を解決していくための独自の取組を支援します。

また、**作業安全推進運動の全国的な展開、臨時的な燃油価格高騰対策として省エネに資する電動機器等も含めた木材加工施設等導入の利子助成・リース**、森林認証材の普及啓発等の取組を支援します。

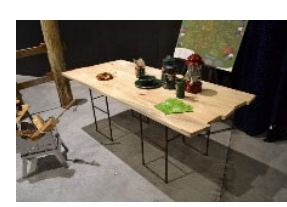
## <事業の流れ>



## <事業イメージ>



都市の木造化に向けた取組



顔の見える木材を使用した構造材・家具等の普及啓発



CLTを活用した街づくりの実証



建築用木材の開発



LVL被覆  
1時間耐火柱



部材のデータ収集



【お問い合わせ先】林野庁木材産業課（03-3502-8062）